

第6回 ごみ処理恵庭モデル検討会(議事録)

日 時:令和4年7月27日(水)16:00~18:00

場 所:市民会館2階 視聴覚室

出席者:5名 【会 長】中尾 文子
【副会長】吉田 英樹
【委 員】菅原 伸治・河野 恵美・石上 一美

欠席者:5名 【委 員】小林 貴・大嶋 亮馬・落合 信也・平井 梓・槇 愛美

事務局側:野村 孝治(生活環境部長)・小路 弘樹(生活環境部次長)・中山 真(廃棄物管理課長)
田中 徹(同主幹)・石丸 直稔(同主査)・谷村 直宏(同主査)・水野 光代(同主査)

1. 開 会

2. 挨拶(会長)

3. 議 事

(1)ワークショップ

2035年(R17)に向けたロードマップの検討・作成について

4. 発 表

5. 今後の検討会について

(事務局より「第7回目の検討会は9月を予定していること」を報告。)

6. 閉 会

～議事要旨～

5 議事

～事務局より説明(資料1「第6回ごみ処理恵庭モデル検討会」)～

事務局： 前は色々なご意見をいただき、今回はロードマップの作成に移り、最後に意見をまとめて発表していただきたいなと思います。

あわせて、ごみ処理恵庭モデル検討会に期待を寄せられていただいている、議会の方から家庭ごみに関する意識調査の中で自由意見に記載のある提案に対してもこの会議の中で議論してはどうかのご意見がありました。会議の中盤に私の方から提案内容についてお話ししたいと思っております。

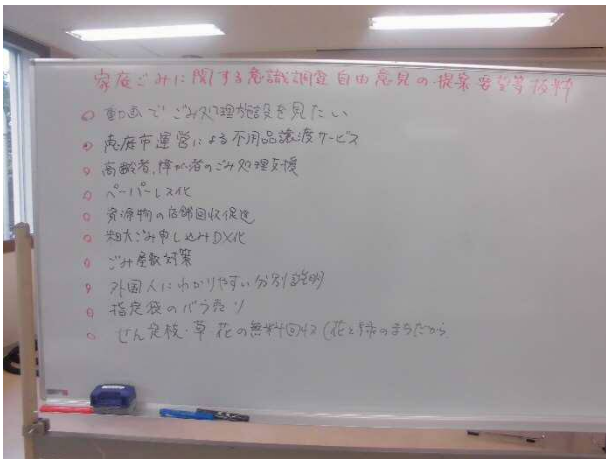
もう一点ですが、紙製容器包装の資源化についてです。前回のゴミ減らし市民会議の中で紙製容器包装を資源化した方がいいのではないかと提案があり、提言書にもあがっているのですが、市で紙を資源化する施設を建てることを検討しましたが、掛ける費用に対して効果が少ないのではないかと、コストが掛かりすぎることになり、当市では紙製容器包装の資源化につきましては、各町内会の資源回収を活用するといった方法になっております。いま現在も各町内会の契約している業者によりますが、資源化収集していただいております。年間80トンくらいが収集されている状況にあります。ただ、業者によっては紙製容器包装を集めていないところもあり、市民間で公平性に欠けるのではないかとといったこともあります。紙製容器包装の資源化に関しては、前回議論してから10年程度経過しておりますので、それについても改めてご議論いただいた方がいいのではないかと提案もいただいておりますので、そのことについても本日も議論をいただければと思います。

(1)ワークショップの様子





(2)家庭ごみに関する意識調査の中で自由意見に記載のある提案内容



(3)2035年(R17)に向けたロードマップについて



事務局：本日欠席された委員が多く1班になりましたので発表はしませんが、今回作成していただいたロードマップをもとに今までいただいたご意見も含めて事務局で清書したものを委員の皆様へ送り、追加してほしい意見などを反映させて完成させていくということで取り進めてもよろしいでしょうか。

委員：よろしく申し上げます。

以上